



校長室だより

第 9 号

令和3年6月7日(月)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

むし歯予防集会

早いもので6月になりました。昨年は4月、5月と臨時休業となり、6月から学校が始まったなあなどと思い出します。まだ我慢しなければならないことも多々ありますが、今年は4月からの2か月間を、通常通り学校生活を送ることができてよかったと思っています。ワクチンの接種も加速しているようです。一日も早くコロナ前の日常に戻ることを願ってやみません。学校では引き続き、マスク着用、換気・手洗いの徹底を図り、感染予防に努めてまいります。

さて、6月4日はむし歯予防デーです。平成25年(2013年)に、6月4日から10日までの1週間を「歯と口の健康週間」として厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医師会が実施している週間です。平成24年(2012年)までは歯の衛生週間としていました。この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的として、実施されています。

本校でも、6月4日(金)の3校時に、むし歯予防集会を開きました。校内テレビ放送で、歯科校医の柳澤一郎先生から、お話をいただきました。今年の標語は「一生を共に歩む 自分の歯」だそうです。むし歯になる原因や歯磨きについて説明をしていただきました。その後、教室等で、4名の歯科助手の先生方に詳しくお話をさせていただきました。子供たちは真剣に話を聞いていました。



沼部小学校の沿革を見てみると、昭和51年(1976年)に学校保健管理(よい歯)優良実践校として表彰を受けて以来、県や国から多くの表彰をいただいています。昭和63年(1988年)にはむし歯予防研究推進指定校として文部省から指定を受けました。平成2年(1990年)に、公開研究会が行われました。(本校を卒業された方で、その当時のことを知っている保護者の方もいらっしゃることでしょう。何かそのころの情報をいただくと嬉しいです。)推測ですが、そのあたりに「すてきな笑顔 毎日みがく歯と心」屋上に看板が掲げられたのかもしれませんが。(初めてあの看板を見たとき、なんか感動しました。)

先日歯科検診を実施しました。全体の四分の一ほどはむし歯ありとという結果でしたが、直近の7年間のデータではむし歯があるという割合は一番少なくなっています。ただ、歯垢の有所見者は小学生でも増えている傾向にあると、柳澤先生がおっしゃっていました。

むし歯予防集会で学んだことをもとに、しっかりと歯磨きをし、健康な歯を維持していきたいと思います。御家庭でも歯磨きへの声掛け等よろしく願いいたします。

